

夢・燐燐

ゆめ・さんさん <No dream & pride, No life> No.36

明石高専推薦試験→全員合格！！

先週の土曜日に明石高専の推薦入試があり、無事というか、見事に全員合格しました。本当に素晴らしい！よく頑張りました。おめでとうございます！これからは、友だちのために学習の手伝いをしたり、応援をして欲しいと思います。

☆☆☆面接練習始まる…

その明石高専の推薦受検の人たちの面接練習は、それぞれの真剣さが伝わって立派なものでした。どの人も態度、姿勢もきちんとしており、受け答えや内容もよく考えて来て、事前に準備していることがわかりました。言葉づかいも正しく、家庭で練習している人もいました。さすがですね。

それに比べ先日から始まった、私学受験の人たちの酷さ。なかには良かった人もいたようでしたが、本気で受験する気があるのか、少し疑問に感じました。もし、先生が高校の面接官なら、間違なく×をつけるでしょう。応えの内容などではなく、合格するために本気で取り組んでいるのか、準備をしているのか、中学校の指導を眞面目に聞いているのか、などなど。練習は練習ですが、そこまでの心構えは自分でしっかりと作っておくべきです。志望学科が言えないどころか、志望校の名前さえ、正しく言えない人もいましたよ。まだもっと上は自分に面接があるのかどうかもわからないなんていう人もしました。「進路のてびき」を活用して、何度も何度も見返し、内容については、暗記しておくぐらいでないとダメです。その気のない人は、何度も練習しても同じでしょう。再練習の人は、心しておくように。

さて、それでは、もう一度(進路通信桜39で紹介されました)面接について、先日のマナー講習会をうけておさらいをしておくので各自もう一度しっかりと復習してください。

○基本動作

お辞儀(礼) ①会釈(えしゃく)入退室の時 ⇒「失礼します」「失礼しました」
15°くらい頭を下げる3m先をみるぐらい。

②普通礼 着席する前、面接終了後起立した時
30°くらい 背中がまっすぐになる。

⇒「お願いします」「ありがとうございました」

姿勢 背筋を伸ばし、男子は側帯(指も伸ばし太ももの横につける)女子は太ももにあって指先を重ねても良い。

語前語礼(ごぜんごれい) 「失礼します」「失礼しました」などの言葉は先に、はっきり言い終わってから礼をする。

○入室

ノックは3回(トイレノック2回、プライベートノック3回、歐米式4回)
「失礼します」会釈。最初と最後の人は両手でドアの開閉をする。ドアの敷居を踏まない。

○挨拶名のり

入室後、椅子の左側に立ち、名前を聞かれたら「はい」と返事をしてから「受験番号」「出身中学校」「名前」「です」と言う。

○着席・離席

椅子の左側に立ち、座ってください(これでおわります)と言われたら、「よろしくお願ひします」(「ありがとうございました」と言って着席(起立)する。3ステップを練習しておこう。

○歩き方

入口から、椅子まで直線で歩かず、角をとって歩く。

○腰掛け姿勢

- ・しっかりと座り、背もたれに持たれないで当たるぐらいい。
- ・発言中は、やや前傾姿勢で、熱意を伝える。
- ・女子はかかと、ひざを合わせて、右手を下にして斜めに重ねる。男子は、自然と揃え、手は軽く握る。

○質問姿勢

- ・質問者に顔を向ける。キヨロキヨロしない。下ばかりみない。
- ・視線を外す時(相手の目を見るのは少し失礼)は相手の首元あたりを見る。

○受け答えの内容

- ・模範解答より自分の言葉で伝える。(基本があってから)
- ・答えられないときは、黙っていたり、モジモジしていることか一番ダメ。「わかりません、申し訳ありません」「緊張のため忘れていました」などと言うのもよいが、何度も使えない。
- ・ニュース(社会情勢)や新聞に目を通して、時事問題や社会への興味も用意しておくこと。
- ・自分の長所、アピールは絶対する。分からなければ友だちや先生に聞いておくこと。短所はごまかさず「～ですが、今は、努力しています「現在は心がけています」というように悪い印象で終わらないこと。
- 敬語も大切だが、使い慣れていない言葉よりも「です」「ます」をしっかりとはっきり言えるようにする。

○ことば使い

○身だしなみ

- ・スカートの長さ、ズボンの折り目など気をつける。
- ・男子の詰襟フック、袖ボタン。女子の髪の毛がお辞儀をした時に顔にかかる前髪を手で降るような動作をしないこと。ピンなどでくくる。

○最後に

家を出てから家に帰るまでが、面接と考え、途中で気が抜けたり、緊張をごまかすためにはしゃがないこと。(特に〇〇くん)
第一印象が一番大事。そのため、身だしなみ、挨拶、表情を大切にすること。

※マナー講習会では、ただ面接の技術を習ったのではなく、人としてどんな時でも相手に対して敬う気持ちや素直な気持ちで自分を表現する心を持つことを教わりました。普段から実践して本物になるのです。